

# サロン 登美ヶ丘茶論(17)

2021年5月



国民は接種連絡待ちぼうけ

陸軍の作戦めいて来た五輪

よーいドン接種券対第4波

五輪やり支持率上る？馬鹿言うな

デジタル庁電通社員が出向し

棒読みをワシントンでも遺憾なく

## ◆ 日本政府は完全にコロナ対策を間違ったのではないかな？

昭和15年生まれの私は幼少期に戦争の恐怖や混乱を味わい、日本の平和憲法、憲法九条の大切さを訴え続けていますが、その私でも今回の「コロナウイルスの感染拡大、パンデミック」は戦争に勝る恐ろしさを感じております。

日本政府は完全にコロナ対策を間違ったのではないかな？と思います。病気にはまず「早期発見早期治療」が原則なのにPCR検診を怠り、治療の決め手ワクチンの開発も出来ず、ワクチン確保も外国頼みで遅れに遅れ、大阪なんか『都構想でうつつを抜かしたコロナ対策』で日本の武漢となりつつあります。こんな時に菅政権は「憲法九条を変えるための憲法審査会を開催し国民投票法案」の強行採決をしました。もうあきれました。「憲法九条を守れ」と叫ぶ私ですら、今は『登美ヶ丘九条の会』ではなく『登美ヶ丘コロナワクチン接種促進会』として動こうかと思っているのです。

ちなみに私はいまだワクチンの接種も出来ておりません。戦争で死ぬのもいやですが、コロナで死ぬのはもっといやじゃあ〜、と思います。(東登美ヶ丘、秋山)



## ◆ 心が痛むことばかり

コロナ・ウイルス感染は広がるばかり。最近の大阪府は重症なのに入院できず、自宅等で亡くなる人が20人近い。保健師などの話では、救急車で搬送中に心肺停止し病院で死亡が確認されたのはこの数に含まれないので実数はもっと多い、とのこと。人口当たりの死亡数は大阪府が断然一位。今の世に病に苦しみながら適切な治療が受けられずに死ぬなんて・・・。

一方、ガザではイスラエル軍の空爆で今月10日以降だけでも80人超えの住民の死者、と。

私は2008年12月30日にイスラエル軍の攻撃が始まったときにフランスにいたが、フランスのTVは、イスラエル軍の暴虐を淡々と情緒的コメントを加えずに、画像をして語らしめるような報道でイスラエル軍の暴虐とガザの民の苦難が脳に心に刻み込まれたのだが、帰国したら、日本のマスコミ報道は、「ハマスがロケット弾を撃つのが悪い」とするのが主流で、その落差に驚いた。今回の報道はまあまあに公平なようだが、西も東も心痛むことばかりです。(Mさん)

すみませ〜ん。4月号でお礼を言うのを忘れました。ありがとうございました。

4月1日、奈良市紀寺町『れんじょう(璉城)寺』で行われた『阿波丸犠牲者慰霊祭』に九条の会から7名の方に参加をいただきました。コロナ対策のため縮小され、全国遠方からの参加者は無く16名ほどで、1940年4月1日台湾沖でアメリカの潜水艦によって沈められた緑十字船「阿波丸」犠牲者2273名の冥福を祈りました。(もしこれが海難事故であれば史上最大の事故です。)ご参加のみなさんありがとうございました。

れんじょう寺はこれからいろいろな珍しい花が咲く寺としても人気があります。敷島町の野尻さんが寺の世話役をされております。花の名前？エート、おおやまれんげ？等。(世話人一同)





銃口がぐるりと民の方へ向き

政治部の腰が引けるNHK

国会の隅に置きたい閻魔様

### ◆ 憲法ソロソロ通常国会 — とりわけ重大な国民投票法強行採決！憲法が危ない！

コロナ禍の中で苦しむ年寄りと病人イジメの高齢者医療費2倍化と病床削減法、私たちの大切な個人情報と企業の金もうけと国による国民監視に使いまわす仕組みを作るデジタル法、有事を想定して基地や原発等周辺私有地に対する国による強権的規制と監視体制を作る土地利用規制法、学長独裁と文科省の支配と介入を強化する国立大法人法改定案、人権侵害を加速する特高警察的な入国管理法改定案等々。これら憲法から、菅政権が画く国家像が鮮明に浮かびあがってきます。

九条の会として最も見過せないのは、国民投票法改定の強行採決です。現行の国民投票法は公平・公正な選挙、民意の正確な反映を保障しない重大な欠陥法です。最低投票率の規定がなく有権者の1割でも成立してしまう、公務員・教員の運動禁止による「表現の自由」侵害、賛否の動向が資金力の多寡に左右される、等。こうした問題点については、同法制定時2007年、改定時2014年にも国会の付帯決議で指摘され与党も賛成したものです。が、改憲派（自公維新）にとって同法はもともと改憲論議に入るための戦略的「呼び水」・手段にすぎないのです。国民投票法なんか今のままの方が都合だ、とまあ何が何でも早くヤレ！アベ改憲案審議をやレ！が本音でしょう。

改憲派が異常な執念を燃やす目標は、国民投票法でなく「9条への自衛隊明記と緊急事態条項創設」を含むアベ「改憲4項目」の実現です。

一方、国民は改憲を求めています。憲法記念日(5/3)の「朝日」世論調査は「憲法9条を変えない方がよい」61%、共同通信では「改憲論議を急ぐ必要がない」が54%です。

ところが、ここに明記が予定される自衛隊は専守防衛と災害救助の「自衛隊」ではありません。2015年の安保法(戦争法)以後の「自衛隊」は、海外派兵(集団的自衛権)が可能となった自衛隊です。9条にその自衛隊を「明記」すれば、9条は完全に死文化します。4月の「日米共同声明」で、日本は米軍の作戦行動に、「台湾防衛に主体的にコミットする」約束をしましたから、この戦争法が発動され米中戦争に巻き込まれる危険性はいまや現実のものとなって来ました。戦争法という「重要影響事態」で米軍後方支援、「存立危機事態」で米艦防護やミサイル迎撃、それに反撃され国内米軍・自衛隊基地が攻撃されれば「武力攻撃事態」なのです(毎日)5/16「緊張高まる台湾情勢」。

コロナ対策「緊急事態」を口実にした憲法「緊急事態条項」論は悪質な詐欺まがいの誘導術です。憲法上の「緊急事態条項」創設はコロナとは全く無関係です。憲法への「緊急事態条項」創設とは：

**首相が「緊急事態」を宣言 → 憲法停止 → 首相に全権委任 → 国民の基本的な人権停止**

これこそナチスがやった手口、ミャンマー軍事政権への道です。日々コロナ禍の苦境・苦行の中にある国民を置き去りにした、ドサクサ紛れの改憲一戦争と独裁の国づくりーは許せません！(Ksさん)

「近事片々」(毎日コラム) 「もういいじゃない」とわずか10分の方針転換した首相。「緊急事態」に3道県追加の舞台裏。迷走浮彫り。 ・甘い政府案の「追認」拒んだ専門家の意地。もっと早くこうあるべきだった。 ・こっそりやるから不信招く。各地の首長のワクチン接種。中央も地方も住民への説明尽くすことが大事。 ・老後の暮らしへの負担増すばかり。介護保険料の全国平均が初の月額6000円超。制度のひずみ点検を。 ・本場の医療従事者に失礼だ。キヤンセルで余ったワクチン、「医療従事者」名乗り、首長らが優先接種。 ・案外この感覚が政権の本音かもしれない。高橋洋一内閣官房参与、日本の感染状況を「さざ波」とツイート。 ・二人のスリランカ女性の死を政治はどう受け止めるのか。いったん採決を見送った入管法改正案、広がる懸念。 ・思う。他国の人権問題に敏感であると同時に、自国の人権の足元も見つめたい。(mhさん抜粋)
--

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、初谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)



**登美ヶ丘九条の会**

幹事長『自山の石』じゃないですか

戦闘機もつが軍隊とは言わず

国会の有識者とはイエスマン